

長野工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語Ⅳ（制御）	
科目基礎情報							
科目番号	0051		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	一般科		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	『大学生のための日本語表現実践ノート』（風間書房）、プリントなど						
担当教員	藤原 崇雅						
到達目標							
・国語で論理的かつ効果的に情報や意思などを伝達することができることによって、(A)－1の達成とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
語彙力	自らの語彙を知的好奇心をもって、積極的に増やすことができる。		基本的な語彙を理解し使用できる。		基本的な語彙力がない。		
書く力	説得力をもった文章を書くことができる。		自らの考えや思いを伝える文章を書くことができる。		自らの考えや思いを伝える文章を書くことができない。		
話す力	説得力のある話し方ができる。		自らの考えや思いを伝える話し方ができる。		自らの考えや思いを伝える話し方ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	情報や意思などを、論理的かつ効果的に伝達する能力と、主体的な表現意欲とを培う。						
授業の進め方・方法	・授業は講義も行うが、課題の比重が大きい。 ・提出物などは、期限に遅れず提出すること。						
注意点	＜成績評価＞・小テスト（20％）・プレゼンテーション（20％）・実用的な文章（20％）・小論文（20％）・口頭発表（20％）の合計100点満点で(A-1)を評価し、合計の6割以上を獲得した者を合格とする。 ＜オフィスアワー＞授業の後の休憩時間に非常勤講師控え室等で対応する。 ＜先修科目・後修科目＞先修科目は国語Ⅲ ＜備考＞本科目は、学習単位科目であり、授業時間30時間に加えて、自学自習時間60時間が必要です。なお、小論文はパソコンで作成する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	本科目の目的や概要などについて理解できる。			
		2週	ことわざ・故事成語・慣用句	類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。			
		3週	敬語・敬意表現	敬語と敬意表現の種類について理解できる。			
		4週	実用的な文章の書き方①	実用的な文章（手紙・メールなど）を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。			
		5週	実用的な文章の書き方②	実用的な文章（手紙・メールなど）を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。			
		6週	実用的な文章の書き方③	実用的な文章（手紙・メールなど）を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。			
		7週	プレゼンテーションと議論①	課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。 相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。			
		8週	プレゼンテーションと議論②	課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。 相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。			
	4thQ	9週	プレゼンテーションと議論③	課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。 相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。			
		10週	小論文の書き方①	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。			
		11週	小論文の書き方②	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。			
		12週	小論文の書き方③	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。			
		13週	口頭発表①	作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。			
		14週	口頭発表②	作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。			
		15週	口頭発表③	作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。			
		16週					
評価割合							

	小テスト	プレゼンテーション	実用的な文章	小論文	口頭発表	合計
総合評価割合	20	20	20	20	20	100
配点	20	20	20	20	20	100